

森、盛、オホーツク

林野庁 北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター

= 第 1 回「森林づくり塾」= 汗を流して成長状況調査

6 月 24 日（日）に北見市端野町の国有林「オホーツクの森」で北見市及び近隣町村から 14 名の参加により今年度 1 回目の「森林づくり塾」を行いました。

この催しは、100 年前の森林（広葉樹と針葉樹が適度に混じった、色々な木や草の種類がいっぱいある森林）を作るために、ボランティアの手を借りながら森林づくりを行なったもので目的としては、ボランティアの輪を広げることです。



植栽木の調査実行中

今回は、10 年前から植えられた木々の状態を 4 班に分かれて調査しました。



調査野帳に熱心に記入する参加者

どこにあるのか探すのに苦労するぐらい小さな物もあれば、3m以上に成長している物もあり、「10 年間でこんなに差が出るなんて」と驚きの声もありました。

自然界の厳しさを改めて感じる光景を目にすることが出来ました。

また、草刈りの支障になる枝等の除去も平行して行いました。

当日は蒸し暑く、みんな「暑い、暑い」と滝のような汗を流しながらの作業となりました。それでも、「こんな作業ならいつでもやるよ」「けっこう楽しいよ」と心強い意見もいただきました。

昼食後は森林散策を行うために訓子府レクリエーション公園へ向かいました。しかし、目的地が近づくにつれて雨が降り出し、公園の近辺では車窓から外が見えないぐらいの強烈な雨になりました。



訓子府レク公園で森林散策

仕方なく予定していたコースは諦めて、展望台まで車で上がって見晴らしの良い風景を眺めてから、森林の入り口付近を少しだけ楽しんで、すべての日程を終え帰路につきました。

～オホーツクの森林づくり～

落枝や倒木を処理その後お楽しみが・・・

7月8日(日)に北見市端野町の国有林内「オホーツクの森」で、北見市及び近隣から17名の参加により、オホーツクの森「自然再生モデル事業企画運営協議会」の後援で「オホーツクの森林づくり」を行いました。

この催しは、多様な森林づくりとして針広混交林を目指し、約10年前から森林ボランティア・企業・高校や大学等の皆さんがこれまでに植栽した広葉樹の手入れを通じて、その生長を確認していただき、森林の働きや公益的機能などの理解を深めるために行っているものです。



保育作業に精を出す参加者

午前中は、**林内の枝や倒木を処理** 植栽木がササに覆われないように刈出しなどを行うとともに、植栽木の生長に影響を与える枝や倒木を処理していただきました。

参加者の皆さんは、額に汗しながら熱心に作業をされていました。

「この作業で植栽した木が大きく育ってくれば」、「どれくらい大きくなるか楽しみです」などの声がありました。

午後からは、「ワッカ原生花園」を訪れ、季節の草花を観賞し、労をねぎらいました。

オレンジ色（橙色）のきれいな「エゾスカシユリ」、ピンク色のかわいらしい「エゾフウロ」などが見られ、参加者からは「きれいな花が見れて疲れがとれる感じです」とか「余り来れないとこなので非常に良かった」という声がありました。



ワッカ原生花園の散策



= 常呂小学校自然観察会 = ワッカネイチャースクールをサポート

7月13日（金）、常呂小学校3年生26人を対象とした自然観察会（ワッカネイチャースクール）をサポートしました。

これは、常呂小学校の「例年ワッカ原生花園に行っているが、花を見るだけとなっており、力を貸して・・・」との要請を受け、自然を楽しむ・親しむことを目的に行ったものです。

当センターでは「森林教室・自然観察は身近な公園でも出来ます」とPRしているものの、森林どころか樹木もほとんどない原生花園・・・しかも、国立公園で枝も葉を採るのも禁止、いつもと勝手が違います。



出発前のアイスブレイク



カメラゲーム後のスケッチの様子

たくさん聞こえた」などの声がありました。

また、「カメラゲーム」（二人ペアになり、カメラマンは目隠しをしたカメラ役を被写体に誘導、カメラ役は見た光景を絵にする）では、エゾスカシユリやエゾフウロ・ムシヤリンドウなどの花をメインにした絵が完成していました。

途中、班員全員が双眼鏡で見終わるまで枝先で鳴く小鳥（たぶんオオジュリン）の助けなどもあり、楽しく散策することが出来ました。

担任の先生からは、「とっても楽しい時間をありがとうございました。来年も願います。来年もお願いするようしっかり引き継ぎます。」というコメントをいただきました。

◎ 参加した子どもたちの声

- ・フィールドビンゴ（カメラゲーム）が一番楽しかった。
- ・来年もまた、ワッカ原生花園の散策をして遊びたい。
- ・花や虫・鳥などいろいろ勉強になりました。 などです。

プログラム作りにも苦心、自然を感じることで観察すること、楽しむことを重視し、ネイチャーゲーム（「フィールドビンゴ」「カメラゲーム」「サウンドマップ」）を組み込みながらの3班に分かれておよそ2時間の散策です。

「サウンドマップ」（自分を中心に、聞こえた音を色や線・記号などで紙に描く）では、「船の音が大きかったので太い線に」「小鳥の声が



散策コース途中の東屋で一休み

～キッズチャレンジクラブ森林教室～ 手作り遊具で元気いっぱい！

7 月 14 日（土）、オホーツクの森で、遠軽町生田原教育センター主催の「キッズチャレンジクラブ」（森林教室）を、森林ボランティア「オホーツクの会」の協力を得る中でサポートしました。

当日は小学 1 年生から中学生までの 24 名が参加し、森の中や川縁で自然を満喫しました。

まずは「森の家」裏山の散策路に作られた 5 つの関門を、4 班に分かれて踏破するイベントです。



双眼鏡を使ってクリアするゲームでの子どもたち

じゃんけんで勝ったら渡れる橋や捜し物クイズ、トランシーバーや双眼鏡を使ってクリアしていくゲーム、そして今年初めてお目見えした蜘蛛の巣ゲームでは、上級生が下級生のことを考えながらリードして、全員が課題を見事クリアしました。

裏山から戻ってきた子供たちは、川縁にオホーツクの会の皆さんが作ったハンモックやターザンロープ、ブランコへ一目散です。

さっきまで山登りで疲れたと言っていたのが嘘のように、元気に動き回りながら遊んでいます。びしょ濡れの子も続出です。

昼食は柳の木の下にブルーシートを敷いて食べました。人懐っこい子も多く話も弾みました。

早々と食べ終えた子供たちは、やはり手作り遊具の元へ。今回は都合で昼食を食べてから帰路につきましたが、今年も元気いっぱいの生田原っ子でした。

8 月の予定

○ 8 月 25 日 山の日記念「藻琴山散策会」（小清水町・大空町 藻琴山）

常呂川森林ふれあい推進センター

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/index.html

〒090-8588 北海道北見市北斗町 3 丁目 11 の 3

【TEL】0157-23-2960 【FAX】0157-26-2144

